

広報

おやすみ

2026

7

No.258

6/6(土) 榎谷棚田で田植え体験が開催されました
(関連記事7ページ)



二宮市政3期目がスタート

4月26日(日)に執行された大洲市長選挙で再選を果たした二宮隆久市長が、5月20日(水)に市役所に初登庁し、集まった市職員が拍手で出迎えました。

二宮市長は、市職員約150人を前に「市役所は市民に寄り添うサービス産業。あいさつと笑顔を忘れず、共に力を合わせがんばりましょう」と訓示し、3期目への決意を語りました。



就任のごあいさつ

このたびの大洲市長選挙におきまして、市民のみなさまの温かいご支援を賜り、引き続き市政三期目の舵取りを担わせていただくこととなりました。その使命と責任の重さに、改めて身の引き締まる思いです。

みなさまからお寄せいただきました信頼と期待にお応えするため、「人・自然・文化がきらめくまちづくり」の総仕上げとして、4つの政策を柱に、**住み続けたいまち“おおず”**の未来を切り拓いてまいります。

1. 安全・安心と防災・減災のまちづくり
2. 健やかに暮らせるまちづくり
3. 活力あるまちづくり
4. 未来に希望を持てるまちづくり

市民のみなさまと共に力を合わせて、「**住むことが楽しく、誇りに思えるまちづくり**」を推進し、より幸せを実感していただける大洲市を次の世代に着実にバトンをつなげるよう、全力で取り組んでまいります。今後とも一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

大洲市長 二宮 隆久

二宮 ^{たかひさ}隆久 プロフィール

【生年月日】 昭和30年3月7日（71歳）

【趣味】 家庭菜園

【座右の銘】 汝の郷土を開発するものは
汝自らなり

【略 歴】

昭和53年 立命館大学法学部卒業

昭和53年 大洲市役所 入庁

平成22年 市教育委員会教育部長

平成25年 市教育委員会教育長

平成30年5月～ 大洲市長

住み続けたいまち“おおず”へ

1 安全・安心と防災・減災のまちづくり

- ▷ 肱川の治水対策を強力に推進
- ▷ 南海トラフ地震、自然災害への備えを強化
- ▷ 松山自動車道の4車線化や大洲・八幡浜自動車道など社会基盤の整備を促進



2 健やかに暮らせるまちづくり

- ▷ 小・中学校の学校給食費の完全無償化
- ▷ 子供のインフルエンザ予防接種への支援
- ▷ スポーツや文化活動などを通じた健康づくり施策の充実



3 活力あるまちづくり

- ▷ 歴史的資源を活用した観光まちづくりのノウハウを生かし
市内全域の地域資源をブラッシュアップ
- ▷ 農林水産業を稼げる憧れの成長産業へ転換
- ▷ 企業誘致・創業支援に取り組み、地域経済を活性化



4 未来に希望を持てるまちづくり

- ▷ 市民文化会館の早期完成
- ▷ 長浜港内港整備事業の促進
- ▷ 阿蔵・高山用地造成事業を促進
- ▷ 公民連携（PPP）を活用して、未来に希望を持てるまちを創造



天皇皇后両陛下が大洲市をご訪問



「第76回全国植樹祭えひめ2026」へのご臨席にあわせ、地方事情ご視察のため5月16日(土)に大洲市を訪問されました。



“「カクレクマノミを昔、水槽で飼っていましたよ」”

長浜高校水族館部が運営する「長高水族館」を視察されました。生徒によるカクレクマノミなどの研究成果報告に興味深そうに耳を傾けられ、天皇陛下は生徒に「カクレクマノミを昔、水槽で飼っていましたよ」と笑顔で言葉を掛けられました。

“「きれいな川、きれいな景色ですね」”

平成30年7月豪雨からの復興状況について二宮市長が説明しました。両陛下から「大変でしたね」と労いや、車窓から見える大洲の風景に、「きれいな川、きれいな景色ですね」とお言葉がありました。



被災者の方々との懇談 ～温かいお言葉に胸を熱くして～

まさかず
矢野正祥さん
(大洲市消防団長)

豪雨災害時のボートでの救助活動について報告しました。

“「これからお体を大事にして活動してください」”

とのお言葉に
「地域を守るために、より一層がんばろうという気持ちになりました」

れいこ
武田麗子さん
(田口地区自主防災組織会長)

災害時の炊き出し活動などについて報告しました。

“「これからも地域のためにがんばってくださいね」”

とのお言葉に
「一言一言が温かく、大変感謝しました」

りんたろう
山内倫太郎さん
(養老酒造)

災害からの復旧時に苦労した点などについて説明しました。

“「お体に気を付けて、これからもおいしいお酒を造ってくださいね」”

とのお言葉に
「これからも良いお酒を造ろうという思いを新たにしました」



左から、矢野さん、武田さん、山内さん

